

栄光園だより
第100号
2015年7月30日発行
発行 社会福祉法人 栄光園
別府市南荘園町3組
〒874-0904 電話 (23) 2827
振込口座 01930-2-20748
編集 広報誌編集委員会
印刷 大野印刷株式会社
別府市青山1-7 電話 (21) 0505

違う道

評議員 平野 八郎



武蔵野の片隅で一人の男が農作業に精を出している。

身の丈六尺豊かながっちりとした体格の持ち主。姿、形、風貌はと云えば一見して忘れられない面構えと鍛えられた肉体と外見は百姓姿でも、見る者が見れば、ただものではないぐらゐの判別は出来るだらう。其処に若者が現れて先生と声を掛けた。声を掛けられた背の高い男は無言である。若者は重ねて言い続けた。私はここに来て半年になります。百姓の見習いに来たのではありませぬ。少しでも剣の道を習い、その業や技術を身に付けたくて来たのです。……教えてください。先生答えてください。

男は静かに答えた。

剣は剣なり！ 剣は剣なり！……と。

若者は、唯啞然とした儘、真実誠の意味がわかったであらうか。いやわかるまい。だが其処には道を究めつつあった武蔵の端然とした姿のみが全てを物語っていた。

……私たちキリスト者として、武蔵の云う剣は剣なり云々は、道理として何となく理解出来るもの、道を究める所は、キリスト者として極めるのではなく、歩み続けるのです。唯歩くだけです。信じてどこまでも歩み続けます。主が備えられ道があるのです。私たちにあってそれが命だからです。……各々違った二つの道のある事を知るべきでは……。

暑中お見舞い申しあげます

酷暑の折柄、皆さまのご健康をお祈り申しあげますと共に、今後なお一層のご指導・ご支援を賜りたくお願い申しあげます
2015年 盛夏

社会福祉法人 栄光園	理事長 友永 丈一
児童養護施設 栄光園	施設長 江口 敏一
乳児院 栄光園	施設長 熊谷登喜子
青山保育所	所長 小久保次郎
野口保育所	所長 本庄 智宏
職員一同	

「この僕に聞き分ける心をおとさない」

列王記上3章9節

青山保育所 小久保次郎

心という漢字は、心臓の構造を表している文字です。心臓は体の中でも最も不思議な器官です。誕生する前から生涯、体むことなく動き続け、人体に酸素と栄養を送り続けます。そして、この心臓は、心と感情を実に反映します。緊張や過度のストレスがあると心臓はドキドキと鼓動が早くなります。心臓が痛くなることもあるでしょう。逆に喜びや嬉しさで心晴れやかですと、心身ともにリラックスします。神様は、ソロモン王の夢枕に立ち、「何事でも願うがよい。あなたに与えよう。」と言われます。普通の人でしたら、人生の成功、健康、家内安全、富、長命などお願いするところかもしれません。しかし、ソロモン王は、ただ「あなたの民を正しく裁き、善と悪とを判断することができるよう、この僕に聞き分ける心をお与えください。」とソロモン王は答えています。ソロモン王は、神に何を求めるべきかを知っていました。

今、人工知能が話題になっています。何十年後かに、人工知能が人間の能力を超える可能性があるというのです。そして人間を支配するようになるのではないかという見方もあります。映画でも優れた人工知能をもったロボットと人間の共存を取り上げた内容も多くなりました。ロボットは何を求められるのでしょうか。近未来の話ですが気になります。ロボットのお手本である人間そのものが矛盾と自己肯定の塊みたいな存在といえなくもありませんから、ロボットも矛盾と自己肯定で行動するかも知れません。しかし、どれほど社会や技術が発展しようとも、福祉の原点は変わりませぬ。他者に最善の利益をもたらす利他の精神です。自己の利益を求めず、まず他者のために行動し、判断する生き方が必要です。イエスの生き方が自己中心の生き方と正反対の生き方をされたことに私たちは注目したいのです。神中心の生き方こそが、他者の福祉をまず第一とする生き方へと繋がるのではないのでしょうか。価値観と社会的規範が揺れ動く今だからこそ、神を中心とするソロモンの謙虚な生き方が光り輝きます。

児童養護施設

日々の食事に感謝をこめて 〜食育と子どもたちの様子〜

キャサリンホーム 保育士 藤本 一明

前年度まで男女混合の当ホームは、今年度より小学校3年から中学3年までの男子7人のホームとなり、職員構成も一部変わり、4月から新たな生活がスタートしました。日々悪戦苦闘しつつも、明るく笑顔の絶えないホーム作り皆で努めています。

男子児童だけのホームとなり、「食」についてほとんど興味がなく、ただ食べられているだけの児童もいれば、食卓の料理に使用されている調味料を言い当てる児童もいるなど意識はさまざまです。

そこで、当ホームの食育の第一歩として、日々の調理で出てくるネギや豆苗の根の部分水栽培に取り組みました。毎日児童が交代で水を入れ替え、日々の成長を楽しみ、収穫時期になると、キッチンパサミで収穫をし、夕食の献立に一品くわえることで、野菜を育てる



ことの大変さと、命をいただいていることの大切さを初歩的な所から始めております。

調理にも児童の方から関心を示して積極的に参加する意欲がありますので、調理経験から食の自立につながるように工夫も行っております。

一方、栄光園は、ホームごとに家庭の味を作るという取り組みを行っており、当ホームでは6月からプランター菜園にてわずかですが自給自足の真似事として、「ナス」「キュウリ」「トマト」の3つの野菜を栽培しています。苗を植える所から児童と一緒に作り、これも当番で水やりをしています。収穫時期が近くなると、米ぬかを用意し、ナスとキュウリはぬか漬けにしようという準備中です。トマトについては、食べるのが苦手な児童が多いのですが、嫌いな食べ物であっても自分たちで作ったことをきっかけに食べてくれればと願っています。

どんな野菜にもたくさん時間とたぐさんの水や栄養、手間が必要であること、それを食すことで、自分の身体の栄養に繋がるということを経験を通

して具体的に学んでいただきたいです。

食育に取り組んでいく中で、取り組みを始めて数ヶ月ですが、子どもたちが知らなかったことを新たに学んだときの喜び、お互いに感謝の気持ちを持つて食事をするこの大切さを日増しに理解してきているように感じています。今後子どもたちと試行錯誤しながら命をいただくこの大切さを一緒に学んでいきたいと思えます。

子どもを育む

おとなの心の健康

心理士 井生 浩之

働く人々の職場でのストレスは年々増大しており、ストレス状態が長く続くと心身の健康が損なわれやすくなると言われています。児童福祉施設で働くわれわれ「対人援助職」もその例外ではありません。特に、対人援助職は感情労働であり、怒りをぶつけられたり、泣かれたり、べったり甘えられたりといった相手(子ども)の感情に頻繁に触れ(晒され)、共感していくうちに感情的に疲弊し、共感のうちに「もえつき」てしまいやすいとの指摘もあります(バーンアウトとも言われます)。対人援助職のもえつきについては、水澤氏の「仕事でもえつきないために」対人援助職のメンタルヘルスケア(大月書店)によくまとめられていますので、ご紹介したいと思います(内容に合わせ一部改変)。おそらく対人援助職「以外」の方々にも参考になると思えます

ので、ご一読いただけると幸いです。

1 もえつきのプロセス(6つのステージ)

- (1) イライラする、不平不満が多くなる
- (2) 忙しそうにする、権威的にふるまう、休みがちになる、怒りの感情をもつ
- (3) 身体に症状がでてくる(朝起きることができない、眠れない、過剰なストレスなど)
- (4) 転職・退職を考える
- (5) 今まで以上に仕事をする、強迫感、うつ状態、アルコールに逃げる
- (6) 倒れる

2 もえつきの背景(原因)

- (1) 仕事のやりすぎ、仕事へのめりこみ
- (2) 自分のケアをしない
- (3) 自分の内面と他人の外面を比べる
- (4) 理想と現実のギャップの大きさ
- (5) その人の背負ってきた考え(使命感、責任感、義務感)

3 管理職による「もえつき」対策(ラインケア)

- (1) もえつきのプロセスと兆候をよく理解しておく ※参考資料『もえつき』の兆候のチェック
- (2) 新しい仕事を与える際は、十分な教育とサポートを欠かさない
- (3) 能力を向上させるための教育的な場をつねに確保する
- (4) 職員同士の共感の場を確保する
- (5) 管理者は「もえつき」の兆候を早めに発見し、必要なサポートを行う

4 各自による「もえつき」対策(セルフケア)

- (1) 自分のニーズを満たす ※参考資料

自分のニーズを満たしていますか？ セルフケア20のチェック

- 1 遊ぶこと 点
- 2 笑うこと 点
- 3 リラックスすること 点
- 4 柔軟性をもつこと 点
- 5 わからないことがあったら、質問すること 点
- 6 よく食べ、よく寝ること 点
- 7 自分で意志決定すること 点
- 8 自分のニーズに注目すること 点
- 9 自分を守ること 点
- 10 自分の感情を知り、適切に表現すること 点
- 11 自分の考えや意見を主張すること 点
- 12 自分がかけがえのない存在だと信じること 点
- 13 必要なときには助けを求めること 点
- 14 自分のための時間をとること 点
- 15 なんでもほどほどにすること 点
- 16 イエス・ノーをはっきり言うこと 点
- 17 適度な運動をすること 点
- 18 心地よいふれあいを楽しむこと 点
- 19 つねに新しいものと出会って、
自分が変われること 点
- 20 自分の限界を知ること 点

それぞれ1～10点満点で点数をつけてください。8～10点は理想的です。7点以下のものは、自分のために重点的にやってあげてください。

こんな症状はありませんか？ 「もえつき」の兆候チェック

- ついイライラして、だれかを攻撃してしまう
- 「だいじょうぶ？」とか「つかれているんじゃない？」と声をかけられると、ムツとする。
- やらなければならないことを、先延ばしにしがちである
- 一生懸命やってもなにもかもうまくいかない、と感じる
- これでいいのか？と、自分のやったことに自信がもてない
- 仕事のことを考えると、ため息がでる
- つかれているのに、ぐっすりねむれない
- 仕事のことが頭からはなれずに、夜中になんども起きてしまう
- 以前は少し休めば体調が回復したのに、最近は回復しない
- しじゅうなんとなく疲れを感じている
- 体重が急に減った、または増えた
- ぼろっとして、思考がまとまらない
- 気がつくとき口をつぐんでいる
- なぜ自分だけ一生懸命仕事をしなければならないのか、と不満に思う
- 人とかかわるのがとても面倒くさい
- まわりの人は鈍感、のんき、真剣さがたりないと思う
- お酒の量が増えた
- 大きな音や声に思わずびくっとする
- なにかにつけ、自分が責められていると感じる
- 孤立感を強く感じる

●左記の5項目以上にチェックがついた人は、「もえつき」を疑ってみてください。



乳児院

子どもの日



随分前の話になりますが、今年の子どもの日は、鯉のぼりランチでお祝いしました。子どもたちは眼をまるくして、指さしたり、さっそく手でつかんで口に持って行ったりしていました。

季節の行事には食事面でも工夫をこらして、子どもたちが楽しめるようにしています。日ごろの食事と違うことを感じてもらいながら、少しでも子どもたちの記憶に残ってもらえたらと思います。



お散歩大好き

子どもたちはお散歩が大好き。職員が「お散歩行こうか？」と声をかけると玄関の方へいちもくさんに行きます。

歩けるようになった子どもたちは、いざ外へ出ると周りの景色にキョロキョロしたり、地面のでこぼこや落ち葉やダンゴ虫をじーっと見ながらなかなか前へ進みませんが、歩くことがとても楽しいようで、ニコニコしています。さあ、今日はどこに行こうかな？

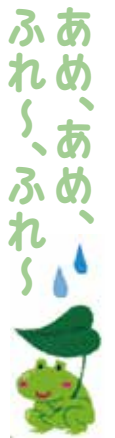


よいしょ、よいしょ

やっと「立っち」ができるようになって子どもたちは、机や柵や台につかまって器用に立っています。テラスで遊んでいると、くぐつて遊ぶはずのトンネルがいつの間にか「立っち」の良い道具に早変わり。

でも子どもたちは、足を踏ん張って立っています。その姿がかわいらしくて思わずパチリ。こうやって立って歩き出すことを覚えていくんですね。





あめ、あめ、ふれ、ふれ

なかなか梅雨があけず、うっとうしい天気が続いています。子どもたちも毎日のように部屋で過ごすのも退屈するようです。たまに小降りの時にテラスに出ると、雨に濡れるのもお構いなしに手を差し出して雨の感触を楽しんでいます。大人にとっても嫌な雨でも子どもにとってはとても楽しい遊び道具になるんです。今度はレインコートを着てお散歩してみようかな？(後日レインコートを着て雨の日のお散歩を楽しみました)



青山保育所

先輩保育士として

青山保育所では毎月、別府大学短期大学部学科長の阿部敬信先生をお招きして園内研修を行っています。主に保育内容についての研修をしたり、ヒヤリハット研修に取り組んだりしています。今回、昨年度のばんだ組の保育の様

子が阿部敬信先生の担当である視聴覚教材の授業に取り上げられることになり、ある日の一時限の授業をばんだ組の保育士がゲストティーチャーを務めました。1歳児を対象とした15分程度の保育を上映し、学生さんからは「この日の遊びのねらいは何ですか?」「子どもを遊びに引きつけるために工夫したことは何ですか?」という質問に対して、自分の保育に対しての解説をしたようです。

未来の保育士さんたちに我が園の保育の様子が教材となって使われることをとても光栄に思います。しかし、その半面、私たち保育士はなぜ子どもにこの遊びを経験させたいのか、それをすることによってどんな効果が得られるのかなどを第三者に説明ができるように自分の保育に責任を持たないといけないと感じました。

いっしょのぼりをつくったよ!

子どもの日に向けてこいのぼりを作りました。4歳児はケント紙をハサミで好きな形に切って模様を作りました。形をイメージしながら切ったり、土台に工夫しながら貼ったりしていました。5歳児はコーヒーフィルターを使ってにじみ絵をしました。ペンで描いた模様が水で濡らして広がっていく様子が歓声を上げ、夢中で取り組んでいました。

一人一人個性豊かで素敵な作品に仕上がりました。子どもたちも大満足の様子でしたよ!



こっちにいるよ

きりん組のお友だちが園庭で遊んでいる時に、ある男の子が「先生ダンゴ虫探して」と言ってきました。別の場所でもダンゴ虫を探している同じクラスのお友だちが「こっちにいるよ」と男の子と保育士へ声を掛けました。お友だちの所へ一緒に行き、友だち同士でダンゴ虫を探そうに仲立ちしました。その様子を見てみると、友だち同士でダンゴ虫がいる場所を教え合ったり、「穴を掘ったらい」「葉っぱをどけたらいい」など探す時のコツなども話したりしているようでした。結果、その男の子はダンゴ虫を見つけて保育士の所へ見せに来て、満足そうな顔で再びダンゴ虫探しに戻っていきましました。

今まではそれぞれ自分の思い思いの場所を探したり、友だちが探している場所をどうしても自分も探したいと思って割り込んだりしてケンカになった

りすることがありましたが、少しずつ友だちと遊びの場を共有できるようになったり、ダンゴ虫を探すためにどうしたらいいかを話したりする姿が見られたことに子どもたちの成長を感じました。

楽しかったよ!

子どものお楽しみ会

5月1日に「子どものお楽しみ会」がありました。当日までに子どもたちが絵具を使って画用紙に指スタンプをして鯉のぼりを作ったり、こいのぼりの歌を歌ったりして、気分を盛り上げてきました。当日は、歌を歌ったり、お話を聞いたり、みんなの大好きなアンパンマン、バイキンマンの登場で大喜びのようでした。話を聞くのも上手になり真剣に見入っていたので驚かされました。子どもたちにとって楽しいことこの日のお楽しみ会になりました。



雨の日には...

うさぎ組のお友だちが雨の日に室内で遊んだ時のことです。アルミホイルを使って遊んだ時には、アルミホイルをく

しゃくしゃくしたり、こちらが破れやすいように少し切れ目を入れてあげると両手でちぎったり、保育士と一緒に引張ったり丸めると固くなり感触が変わったりする様子を面白がっていました。シャボン玉の遊びでは次々とシャボン玉が出てくる様子を見ると「わー!」とうれしそうに手を伸ばしたり、1人で上手に吹けるお友だちもいてゆっくり息を吹いて大きく膨らましたり、勢いよく「ふー!」と吹いてみたりと器用に吹く姿に驚かされました!アルミホイルやシャボン玉を使った遊びは子どもたちにとっても興味深い遊びであつたようです。



野口保育所

新年度がスタートして3ヶ月が経ち、子どもたちも毎日元気に保育士やお友だちと楽しく過ごしています。7月からはプール遊びも始まりました。晴れでも雨でも、子どもたちと毎日楽しく遊んでいます。そんな様子をご紹介していきたいと思ひます。

保育参観

今年度はたくさんさんの保護者の方が子どもさんの様子が見れるように保育参観の期間を1週間設けて行いました。毎日、違うお家の方が参観にくるので、子どもたちは「今日は誰のお家の人か来るかな?」「自分のお家の人はいつ来るのかな?」と毎日わくわくした様子でした。毎日活動が違うので、制作の日もあれば散歩の日もあつたりと見たい活動の日に来れるのも、今までと違い保護者の方からも「いつもと違った様子が見れて楽しかった」などのお声も頂き、これからの保育参観も子どもと保護者が楽しく過ごせるように企画していきたいです。

芋の苗植え

6月12日には3歳・4歳・5歳児と一緒に食育の一環として、芋の苗植えに「農業文化公園」まで行ってきました。梅雨のため、天候の心配もありましたが、当日は雨も降らず行うことが出来ました。おうちの方が作ってくれたおにぎり弁当を持ってバスに乗り子どもたちもハイテンションでした。農業文化公園の担当の方のお話もきちんと聞くことができ、畑にもくもくと向かい真剣にそして大切そうに苗を持って植えることが出来ていました。

10月には全クラス「親子遠足」として芋ほりに行きます。植えて終わりにだけにするのではなく、成長を子どもたちと見守りながら、食べ物の大切さを

学んでいきたいなと思ひます。



夏野菜の収穫

5月の中旬に0歳児〜5歳児までの子どもが入り混じった縦割りのグループをつくり、「枝豆」「ミニトマト」「いんげん豆」「きゅうり」の種や苗をプランターに植えました。小さいクラスの子どもがしようとすると、土に穴をあけてあげたり、植え終わるまで心配そうに見守りながら待つてあげるなど優しい一面も見られました。

大きいクラスのお当番が毎日水をあげたり、小さいクラスの子も自分たちの植えた野菜を戸外で遊んでいる時など近くによって見たりと興味を持って野菜の成長を見ていました。



食育

7月に入り、みんなで収穫し、お味見♪「おいしく」とニコニコの笑顔でした。スーパーで買う野菜と味は変わらないはずなのですが、お友だちみんなで植え、育てた味は格別のようにです。食育ではそんな心を沢山育てていきたいです。

毎年、食育チームを作り野菜の苗植えから季節の旬の食べ物を使ったクッキング、給食の先生が各クラスに来てくれる出張おやつなど計画を立てて毎月行っています。



6月は梅ジュースやしそジュース・しそゼリーを作りました。子どもたちもすっぱい顔しながらも「もう一回飲みたい」など旬のものを味わっていました。また、給食の先生が各クラスに来ての「出張おやつ」：目の前で焼いてくれるので、鼻からは香りが、目からは焼いている光景：耳からはジュージューと美味しそうな音：出張おやつが楽しみです。仕方がない様子です。植えて作って食べることも大事な食育ですが、毎日自分たちが食す物を調理してくれている人は誰だろうを知り、作ってくれる人を身近に感じ感謝する気持ちも育てていきたいなと思ひます。

7月からは七夕や夏祭りなど夏に向けてたくさん行事などありますので、子どもたちと職員みんなで楽しく元気に過ごしたいと思ひます。

2014年度 決算報告

貸借対照表

(自)2014年4月1日(至)2015年3月31日
(単位:円)

資産の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
流動資産	137,843,470	21,886,546	33,688,816	49,592,291	15,210,159	17,465,658
基本財産	340,994,834	0	281,541,950	43,252,391	8,277,026	7,923,467
その他の 固定資産	178,808,805	621,652	63,476,543	81,458,656	15,020,658	18,231,296
資産の部合計	657,647,109	22,508,198	378,707,309	174,303,338	38,507,843	43,620,421

負債の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
流動負債	12,121,119	126,080	5,104,789	3,063,110	1,994,673	1,832,467
固定負債	38,433,090	0	15,926,935	6,380,342	7,865,931	8,259,882
負債の部合計	50,554,209	126,080	21,031,724	9,443,452	9,860,604	10,092,349

純資産の部

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
基本金	119,370,926	0	65,190,353	45,671,093	8,509,480	0
国庫補助金等 特別積立金	207,708,638	0	162,918,958	33,208,684	8,249,643	3,331,353
その他の 積立金	107,801,000	0	36,984,000	59,347,000	6,250,000	5,220,000
次期繰越活動 収支差額	172,212,336	22,382,118	92,582,274	26,633,109	5,638,116	24,976,719
純資産の部合計	607,092,900	22,382,118	357,675,585	164,859,886	28,647,239	33,528,072
負債及び 純資産の部合計	657,647,109	22,508,198	378,707,309	174,303,338	38,507,843	43,620,421

脚注 減価償却累計額 399,505,528 円
※上記減価償却累計額は、法人本部、児童養護施設、乳児院、青山保育所、野口保育所の合計金額となります。

- 4月30日付退職 乳児院 三浦いずみ(保育士)
- 5月31日付退職 児童養護施設 若杉 忠志(保育士)
- 6月30日付退職 乳児院 渡辺 愛希(看護師)
- 5月1日付採用 乳児院 望月さくら(保育士)
- 7月1日付採用 乳児院 相良 智美(保育士)
- 児童養護施設 山川二美世(児童指導員)

4〜6月職員の動静

社会福祉法人 栄光園
2015年度

評議員 熊谷 登喜子
評議員 平野 紀美代
評議員 小久保 次郎
評議員 細井 智宏
評議員 山本 美智
評議員 長野 哲也
評議員 平野 八郎
監事 滝口 真宏
監事 吉本 敏行
理事 齋藤 一子
理事 江口 睦子
理事 山名 家壽
理事 豊永 康一
理事 安部 田丈
理事 池田 康一
理事 友永 一

社会福祉法人 栄光園
2015〜2016年度 役員

2014年度 決算報告

資金収支計算書

(自)2014年4月1日(至)2015年3月31日
(単位:円)

事業活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
児童福祉事業収入	325,593,246	0	162,182,053	163,411,193	0	0
保育事業収入	190,861,855	0	0	0	104,948,970	85,912,885
経常経費寄附金収入	7,294,302	1,910,000	5,283,302	101,000	0	0
受取利息配当金収入	36,410	4,775	5,289	17,811	4,034	4,501
その他の収入	8,023,895	1,820,790	3,823,915	764,202	1,217,488	397,500
事業活動収入計①	531,809,708	3,735,565	171,294,559	164,294,206	106,170,492	86,314,886

事業活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
人件費支出	381,011,561	0	114,138,257	113,809,017	87,499,949	65,564,338
事業費支出	62,213,335	0	25,851,910	14,900,216	10,304,827	11,156,382
事務費支出	37,221,056	2,375,124	7,798,044	16,199,359	6,879,947	3,968,582
その他の支出	0	0	0	0	0	0
事業活動支出計②	480,445,952	2,375,124	147,788,211	144,908,592	104,684,723	80,689,302

事業活動による収支差額

事業活動資金収支差額③=①-②	51,363,756	1,360,441	23,506,348	19,385,614	1,485,769	5,625,584
-----------------	------------	-----------	------------	------------	-----------	-----------

施設整備等による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
固定資産売却収入	339,420	0	20,420	319,000	0	0
施設整備等収入合計④	339,420	0	20,420	319,000	0	0

施設整備等による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
設備資金借入金元金償還支出	2,000,000	0	2,000,000	0	0	0
固定資産取得支出	8,272,698	248,400	1,247,070	3,779,150	0	2,998,078
施設整備等支出合計⑤	10,272,698	248,400	3,247,070	3,779,150	0	2,998,078

施設整備等による収支差額

施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	-9,933,278	-248,400	-3,226,650	-3,460,150	0	-2,998,078
------------------	------------	----------	------------	------------	---	------------

その他の活動による収入

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
サービス区分間繰入金収入	3,200,000	0	1,200,000	2,000,000	0	0
その他の活動による収入	0	0	0	0	0	0
その他の活動収入計⑦	3,200,000	0	1,200,000	2,000,000	0	0

その他の活動による支出

科目	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
積立資産支出	40,491,760	0	18,519,300	17,919,740	1,451,200	2,601,520
サービス区分間繰入金支出	3,200,000	3,200,000	0	0	0	0
その他の活動による支出	0	0	0	0	0	0
その他の活動支出計⑧	43,691,760	3,200,000	18,519,300	17,919,740	1,451,200	2,601,520

財務活動による収支差額

その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	-40,491,760	-3,200,000	-17,319,300	-15,919,740	-1,451,200	-2,601,520
-------------------	-------------	------------	-------------	-------------	------------	------------

当期資金収支差額合計

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	938,718	-2,087,959	2,960,398	5,724	34,569	25,986

前期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
前期末支払資金残高⑪	124,783,633	23,848,425	25,623,629	46,523,457	13,180,917	15,607,205

当期末支払資金残高

	総合計	法人本部	児童養護施設	乳児院	青山保育所	野口保育所
当期末支払資金残高⑩+⑪	125,722,351	21,760,466	28,584,027	46,529,181	13,215,486	15,633,191

栄光園のご支援者

ご支援ありがとうございます。

栄光園は多くの皆様の継続した温かい思いによって支えられてきたことを心から感謝いたしております。皆様のこのような思いは、子どもたちの成長に、また、働く私たちの職員の方々に大変大きな力となっております。とをいつも嬉しく思います。

児童養護施設の子どものための卒園後の進学等を重点的に支援する目的で「自立進学資金」の枠を設けております。早速、県立農業短大に通っております学生が大学企画の「農業研修旅行」でドイツの視察研修に6月参加することが出来ました。卒園後の農業分野での活躍に生かされることを期待しております。皆様のご協力ありがとうございます。

この夏も皆様の上に神様の豊かな祝福があります。よつお祈りいたしております。

2015年4月1日より2015年6月30日まで

2015年 賛助金

- 足立 勇様 大分市
- 阿部 薫様 日出町
- 大内 矯正歯科様 大分市
- 大澤 伸子様 大分市
- 金谷 正明様 大分市
- (株)コーワ精起様 東京都
- 佐々木雅明様 大分市
- 立花充康・旦子様 大分市
- 中村 里子様 別府市
- 長谷川和夫様 岡山県
- 帆足 宗次様 別府市
- 堀 直様 西宮市
- 堀 高志様 別府市
- 舩田 泰義様 別府市

- 松本 重孝様 別府市
- 宮沢 淑子様 大分市
- 矢永 尚志様 別府市
- 山口 産業(株)様 別府市
- 山田 清美様 大分市
- 山本 恭正様 別府市
- 吉井 建之様 大綱白里市
- 渡邊 暁子様 別府市

2015年 一般寄付

- 安東 秀典様 大分市
- いろは商事様 別府市
- 立花充康・旦子様 大分市
- 匿名 名様 別府市
- 長野 哲也様 別府市
- 濱田セツ子様 大分市
- 東九州短期大学様 中津市
- 森岡 律子様 瀬戸内市

2015年 自立進学資金

- 安東秀典様 大分市
- 匿名 名様 別府市
- 立花充康・旦子様 大分市
- 山田 清美様 大分市

2015年 特別物品寄付

- 児童用衣類 アン 安西恵子様
- 衣類等 池田絢子様
- 児童用タオル 猪俣結城様
- タオル等 上杉敬三様
- 甘夏 エダ様
- お菓子等 ココラート様
- パン 隅田勝則・真寿美様
- 布団等 匿名 名様
- 食品等 匿名 名様
- 毛布等 匿名 名様
- 衣類等 匿名 名様
- 洗剤・文具等 中村耕吉様
- ザボン・お菓子等 中村里子様
- 梅干し・布等 南光物産様
- 梅干し 野口克子様
- お菓子等 橋本奈良男様
- 食品・折り紙等 諸富トミ子様
- 山口香様

- 玩具 山田清美様
- 水鉄砲等 ヌワキヤ様

2015年 招待・奉仕

- 小・中学習指導 安東秀典・井上せつ子様
- 英会話指導 アデリン・ベータ様
- スポーツ英語音楽指導 ティム・ディック様
- 学園祭招待 APUの学生様
- プロレス観戦 江藤行夫様
- 児童のヘアークット Kヘアー様
- 観劇等 別府北ロータリークラブ様



ご案内 グレースホームの集い

栄光園を巣立った卒園生、栄光園を支援して下さる皆様、そして生活している子どもたちの集いとして、「バーベキューの夕べ」を本年度は、**8月8日(土) 17時より**園庭にて開催いたします。今後、「クリスマス」、ゴールデンウィークの「子ども祭り」を含め、年に3回ほどの定期的な交流の場を設ける予定です。で気軽にお立ち寄りください。

もちろん、参加費は無料で、お志等は固く辞退させていただきます。

賛助会員募集

年会費、一〇千円、但し、何口でも、分割可。
ご連絡いただければ職員が参上します。栄光園賛助会事務所は、別府市南荘園町3組です。

賛助会員の皆様には、栄光園の広報誌「栄光園だより」を送付させていただきます。



苦情等相談窓口

*法人および各施設での苦情等は下記の連絡先へご相談ください。
tel.0977-23-2827
fax.0977-23-7520
mail eikoen@live.jp

編集後記

「栄光園だより」は本号が記念すべき100号です。栄光園は創立以来、税金と寄付金でまかなわれており、事業内容を皆様にご報告する上で広報活動は大切だと思っております。

創立者の小郷小福時代に娘の文学者小郷穆子が1965(昭和40)年12月に創刊し、年1〜2回の発行でしたが、5年前より季刊誌として年4回発行となりました。2013年よりインターネットのホームページも開設いたしております。

本号には、2014年度の決算報告も掲載いたしました。すべてが神さまのお導きであり、皆様のご支援の賜物で、感謝にたえません。

(敬)